

VIII 誇らしい「都」をつくる

～定住、交流の促進により、南部・東部地域を住み続けたいくなる、還りたいくなる、訪れてみたいくなる地域にする～

25 南部・東部の振興

(124) 南部・東部の都づくり

25 南部・東部の振興

(124) 南部・東部の都づくり

これまでは

交流の促進と定住の促進を基本として施策を進めてきました。

【交流の促進(訪れてみたいくなる地域づくり)】

<情報の発信>

- ・大手旅行雑誌等への広報
旅行雑誌「じゃらん」全国版への広告掲載
- ・大手百貨店との連携プロモーション
阪神百貨店において、奥大和地域で活動するクリエーターの作品を展示・販売

<訪れて、体験してもらう>

- ・奥大和の特色を活かしたイベント事業
 - ・弘法大師の道を活用したトレイルランニングレース
 - ・温泉街の雰囲気にも調和した「音楽祭」の開催
 - ・「MIND TRAIL奥大和」の開催
- ・奥大和の特色を活かした旅行プランの造成
 - ・JR西日本・近鉄と連携し、個人旅行宿泊プランを造成



トレイルランニングレース



音楽祭

【定住の促進(住み続けられる地域づくり)】

<暮らしやすくする>

- ・奥大和地域の市町村と連携し、地域に寄り添いながら住民の健康を見守る「コミュニティナース」の導入等を推進
- ・奥大和コミュニティナース養成講座を実施



コミュニティナース

<移り住んでもらう>

- ・移住、二拠点居住及び定住に向けた活動
 - ・奥大和19市町村と連携し、移住相談体制、地域受入体制、移住者拠点施設等を整備
 - ・移住体験住宅のモデルプランを作成
- ・起業家等が「集まる」「つながる」「育つ」小規模多機能な拠点づくりを推進
 - ・奥大和移住定住交流センターengawaに実験店舗を設置し、複合施設(イベント、展示、ショップ販売、マッチング、移住相談、人材育成等)の実証実験を実施

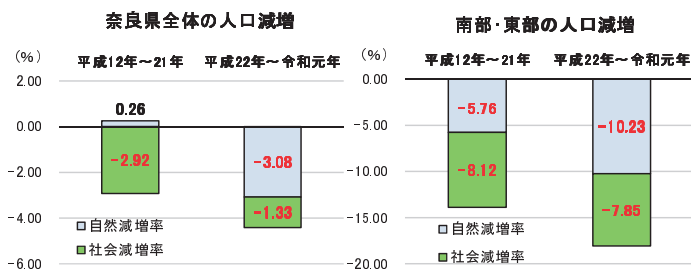


移住定住センターengawa

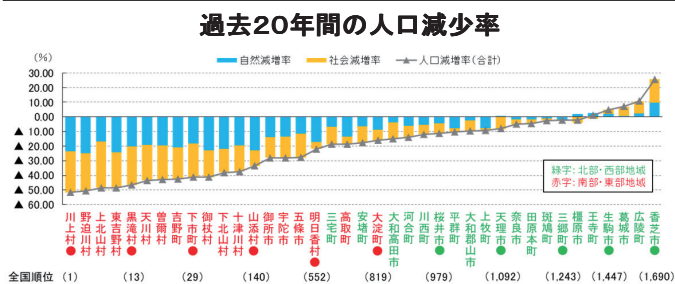
(124) 南部・東部の都づくり

これまでは

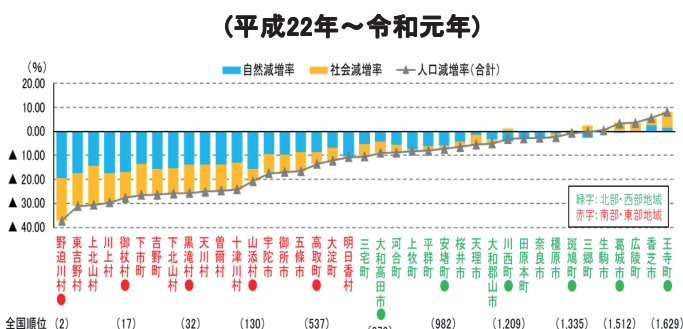
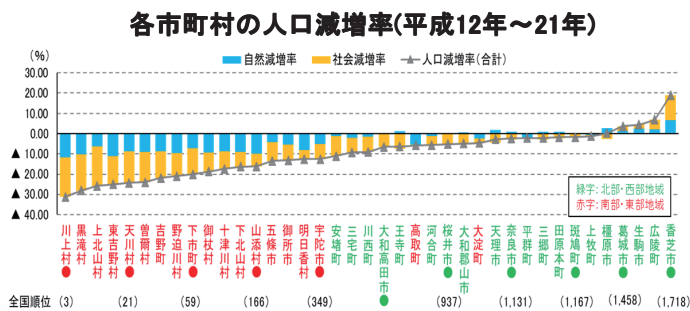
過去20年間の南部・東部の人口減少は、奈良県の中でも際立っていました。この10年間は自然減の減少率が増加



過去20年間の人口減少率の最も高いところは▲51.55% (川上村)、低いところでも▲16.14% (大淀町)



過去10年ごとの社会減、自然減を市町村ごとに比較



(124) 南部・東部の都づくり

もっと良くするために

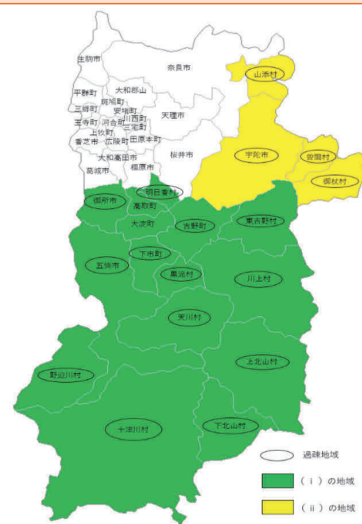
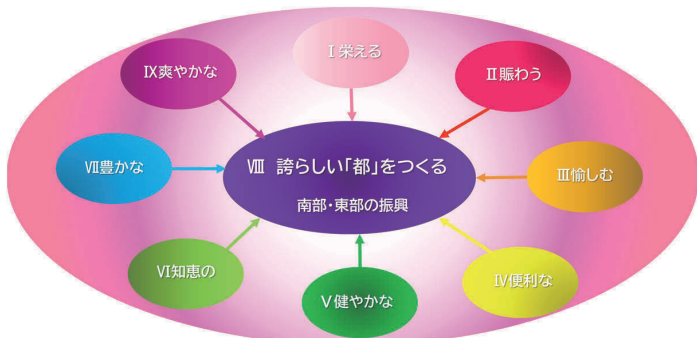
◇新たな『南部・東部振興基本計画』を策定

森林と水を守りつつ、人と経済の循環を高め、持続可能な地域社会を形成していくことが重要であり、**誇らしい「都」をつくるため**、新たに基本計画を策定し南部・東部地域の振興を図ります。

計画実現のための三つの柱

- 1 「住み続けたいくなる、還りたいくなる地域づくり」(定住の促進)
- 2 「訪れてみたいくなる地域づくり」(交流の促進)
- 3 「力強い市町村づくり」

誇らしい『都』づくりのイメージ



県では令和2年2月に「奈良新『都』づくり戦略」を作成し、「Ⅰ 栄える」から「Ⅸ 爽やかな」までの9つの都をつくるという戦略で施策に取り組んでいます。

このイメージ図は、南部・東部地域においてそれぞれの『都』づくりを県・市町村・民間が連携・協働して進めることで、「Ⅷ 誇らしい『都』をつくる」ことを表しています。

(124) 南部・東部の都づくり

もっと良くするために

これまでの取組を一層進めるとともに、新たな戦術として「**テーマを決め**」、「**拠点を形成し**」、「**拠点を結節する**」取組を進めます。あわせて、地域で育成した人材が、引き続き地域内で活躍してもらえるような「**人材の育成・確保**」も進めます。

奈良県南部・東部振興基本計画の推進(23百万円)

拠点の形成

○宿泊観光を核とした拠点づくり(125百万円)

- ・周遊観光を促進するための歩く芸術祭を開催
- ・奥大和とつながりを生む交流イベントの開催
- ・奥大和地域をフィールドとした体験型ツアーの実施
- ・市町村や地域団体と連携した誘客度の高いイベントの開催
- ・映像を活用した魅力発信
- ・鉄道事業者と連携した魅力発信 等

○スポーツを核とした拠点づくり(11百万円)

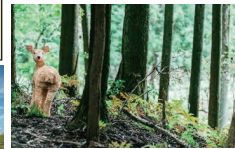
- ・「弘法大師の道」を活用したトレイルランニングイベントの開催
- ・(新)奥大和地域でのロングトレイル実施のため、コース策定等の実施
- ・県内サッカークラブと連携したサッカーイベントの開催

○「集まる・育てる・つながる」拠点づくり(43百万円)

- ・奥大和地域で作られる家具等を販売する実店舗展開に向けた調査、検討、仕組みづくりの実施
- ・移住・定住、多地域居住を推進するための拠点施設整備を行う市町村への補助 等



うだ・アニマルパーク



MIND TRAIL奥大和
photo:都甲ユウタ



南部地域のゲートウェイとなる
スポーツ拠点

○南部地域のゲートウェイとなる拠点づくり

- ・温泉観光拠点づくりのため宿泊施設の誘致(十津川村)
- ・スポーツ合宿誘致を中心とした拠点整備、宿泊施設の誘致(下北山村)

○東部地域における拠点づくり

- ・宇陀市等に地域の活性化に繋がる拠点整備を検討

○うだ・アニマルパークを活かした拠点づくり(21百万円)

- ・魅力向上のためのイベント 等



オフィスキャンプ東吉野



下北山BIYORI

(124) 南部・東部の都づくり

もっと良くするために

人材の育成・確保

○宿泊観光を担う人材の育成(1百万円)

- ・持続可能な宿泊施設経営に向けた研修会の実施

○スポーツを担う人材の育成 <再掲> (11百万円)

- ・「弘法大師の道」を活用したトレイルランニングイベントの開催
- ・(新)奥大和地域でのロングトレイル実施のため、コース策定等の実施
- ・県内サッカークラブと連携したサッカーイベントの開催

○「医療・福祉」に関わる人材の育成(6百万円)

- ・コミュニティナースの育成に係る講座等の実施

○「集まる・育てる・つながる」人材の育成(52百万円)

- ・奥大和での持続可能な地域づくりを学ぶ講座の開催
- ・奥大和地域で活躍する人材を育成する講座の開催
- ・県と奥大和地域19市町村で構成する「奥大和移住・定住連携協議会」において移住・定住に関する人材育成研修会等を実施
- ・(新)奥大和地域内の生産者、加工・販売者等が異分野人材と協業し、新規事業開拓および販路拡大を促進するためのセミナー等を実施
- ・移住や多地域居住を促進する取組を行う地域受入協議会を支援する市町村への補助 等



令和3年度予算案 282百万円